

# はじめに 目次

中能孝則

## 寄稿（メッセージ）

Educationの原義に戻った実践

子ども時代の自然体験活動は、人間性の基礎となり、未来につながる

汐見稔幸

内田幸一

## プロローグ

「森のようちえん」のはじまりはデンマーク

はじまりの背景 国の子育てと人育ちの理念 子どもの個性を伸ばす 学びのプラン  
ぼくがデンマークで受けたカルチャーショック

## 1 日野社会教育センターの活動〈心ときめいた日々〉

三つ子の魂百まで

森のようちえん&森の冒険学校

## 第2章 森遊びで育まれ身に着けていく生きる力

- 子ども時代の自然体験は、生涯に影響する ○好奇心を伸ばしていく遊び
- 動物的本能の開花と仲間のことを思う心が育つとき
- 刃物を使う力が生まれるとき ○遊びの成功、失敗で判断する力が育まれる
- 自分の限界を見極める力が育ち始めるとき
- 見よう見まねで知恵を付けていく ○築山で両手・両足を踏ん張り、心と体を支える力

を養う

- 「遊び切る」ことの楽しさは、達成感、満足感を体感する
- スリルと楽しさは紙一重。遊びの中でそれを見極めている
- 「俺さ、学校は好きなんだけどね」 ○子どもの心にだけ響いているきれいな音
- 遊びの設定について

### 第3章 “安全に安全に” は最善の策ではない

スキルや認知の発達には挑戦的な遊びが有効

- 怖いを乗り越えて生まれる自己肯定感 ○「挑戦する勇氣」と「やめる勇氣」
- 小さな挑戦、そこから得られるベネフィットとアフオーダンス
- 認知的能力と非認知的能力について ○親切という名のおせっかひにならないように
- 危ない遊びとリーダーの対応 ○喧嘩 ○見守ると待つー心のゆとり
- もう少しで届くのになあー ○アンバランスの楽しさと怖さを味わう
- 川遊びの楽しみとリスクマネジメント ○川遊び時のライフジャケットの着用について

### 第4章 リーダーのホスピタリティー（歓待）

自然体験活動で求められるリーダーのホスピタリティーとは

- サービスタとホスピタリティーの違い

○自然体験活動で育んでみたいホスピタリティーとそのねらい  
○夢を持っている子どもの心を信じる ○安全管理と安心感  
○保護者に対するホスピタリティーを実践する ○指導者のホスピタリティーの基本  
リーダーに求められる力量

○子どもたちの心に刻まれる自信をどうつけるか

○「やってみたい！」という気持ちをどこまでも応援する

○勇壮なキャンプファイヤーを楽しみ、人間の尊厳や命の大切さにふれる

○一見、非効率と思われる遊びを一緒に楽しむ

活動を具体的に報告する力を身につける

冬の森のようちえん&森の冒険学校・雪だるまキャンプ

○いざ雪遊びに出発 ○雪の原っぱ遊びへ出発の準備 ○それぞれの雪遊びにとりつか

れる

○餅つき体験

○お楽しみタイム

○スリル満点のソリ遊びを楽しむ

○雪だるまキャンプ活動のふりかえり

○子どもの様子

○プログラム

○運営

○活動面

○生活面

保護者の方々からのメッセージ

その他の野外活動で身につけたい力量

○里山公園の「森」を読む力を身につける（森を知る・春から秋）

○活動場所でのポイ

ント

○危険な動植物を上手に避ける知識と対策 「君子危うきに近寄らず」

○子どもの体調管理と行動に気を配る ○全体的な動きを把握する

○補足（子どもの並外れた才能を理解するために）

## 第5章 野外活動を楽しむための い・ろ・は

まずは内容を吟味し、次に計画を立てる

リーダー身支度入門・日帰り編

○服装 ○ザック ○雨具 ○靴 ○腕時計 ○食料関係 ○携行品 ○知識と経験を蓄え

る

初心者向けロープワーク（森のようちえん＆冒険学校学遊びで知っておきたい基本の結び）

○「どこでもブランコ」ロープ結びの応用 ○火を使った野外炊飯を楽しむために

## 第6章 森のようちえん＆冒険学校の参加者や保護者からのメッセージ

私の一生の宝物

宇宙を感じるほどの深い意味が

自分は自分でいいのだと自信を持てた息子

森のようちえんとは

森の冒険学校は「ダメダメいわれないんだよ」

子どもの豊かな感性が大人の想像を超えて広がっていく森遊び

時間を余すことなく森を遊び尽くしている

慎重さの殻を破ってくれたワクワク体験

砂場の砂さえ嫌がっていた子が

森のようちえんの経験が奥底にあって今の自分がある

親の心子知らずでOK

私の中に生まれた哲学

仲間と繋がり、知恵を出して突破する快感なり

いま、宝のような時間を手に入れることができた

小さなとき野外で遊んだ経験がいまの自分の生き方の軸になっている

日常生活では得られない「勘」や「工夫する想像力」

インドア派の私が母のすすめで野外活動に！

仲間と知恵を出し合って乗り越えていく力を育んだ野外遊び

「ぼくたちは、ぼくたちでいいんです」

遊びから楽しさの共有ができていくキャンプ活動

あのと私の私の勘はすごかった

個性を伸ばし、たくましい子どもに

今の時代にこそ、自分で考えて行動する子になってほしい

「森遊び」で育まれる子どもの力

## エピソード 心にある出来事

「もはやこれまでか」と進退伺を出す

「右足のスベアはないですか」

何ものにも代えがたい自分を見つけ出すスイッチは、すべて森遊びの中に

あながき 子どもたちを野外で遊ばせたいと思っっている保護者の応援に

【参考資料】

日本の森のようちえんのはじまり  
全ての子どもたちのすこやかな成長を願って  
著者略歴